

取扱説明書

ダイチヨーホーⅡ &Ⅳ

Sample

株式会社スリーストーン

はじめに

ダイチョーホーⅡ&Ⅳをお買い上げいただきまして有り難うございます。

この取扱説明書は、事故等を防ぐための重要な注意事項と製品の仕様や使用方法などについて記載しています。ダイチョーホーⅡ&Ⅳを快適にご使用いただく為、この取扱説明書を最後までお読み頂き、いつでも見られる場所に保管して下さい。

組み立て後は、本書 46 及び 47 ページ目の**ユーザー登録シートに必要事項を記載し、ご購入企業様へご提出**願います。ユーザー登録完了後、折り返し、ご連絡を致します。

ご注意

1. ダイチョーホーⅡ&Ⅳへの供給電源はAC100Vです。絶対に、他の電圧及び極性は、接続しないで下さい。
2. ダイチョーホーⅡ&Ⅳに有るサービスコンセントは、AC100V です、パチンコ遊技機には、必ずAC24Vのトランスを介して接続して下さい。パチンコ遊技機をサービスコンセントに直接接続すると壊れる場合が有ります。
3. ダイチョーホーⅡ&Ⅳを分解・改造しないで下さい。お客様で分解及び改造された装置は、保証の対象外となります。
4. ダイチョーホーⅡ&Ⅳに転倒などの衝撃が加わった場合、破損していないか確認して下さい。一部でも破損している場合は使用しないで下さい。
5. 煙が出ている、焦げた臭いがする、などの場合は、直ぐに、使用を停止して電源を切り、コンセントから電源ケーブルを抜いて下さい。
6. ダイチョーホーⅡ&Ⅳは、高湿度環境下での使用は、お避け下さい。または、濡らさないで下さい。
7. ダイチョーホーⅡ&Ⅳは、絶対に、濡れた手で触らないで下さい。
8. ダイチョーホーⅡ&Ⅳに、パチンコ遊技機以外の物を載せないで下さい。
9. 接続線・リード線には、物を載せないで下さい。
10. 接続線・リード線は、必ず、電源供給をオフにしてから接続、取り外しを行って下さい。
11. 接続線・リード線の接続及び取り外しは、絶対に、濡れた手で行わないで下さい。
12. 結露が発生しているときは、水分が乾くまで使用しないで下さい。
13. ダイチョーホーⅡ&Ⅳに着いた埃や汚れは、乾いた布でふき取って下さい。
14. お手入れのときは、ベンジン・シンナーなどの揮発性溶剤は使用しないで下さい。
15. 湿気やほこりの多い場所には、保管しないで下さい。
16. ダイチョーホーⅣを使用する場合は、ダイチョーホー本体のみならず、パチンコ遊技機のアースを取って下さい。また、市販のノイズカットフィルターをご利用下さい。

本書の内容は、予告なく変更することがあります。本書の一部または全部を無断で複写・複製することは禁じられています。

※ダイチョーホーは、株式会社スリーストンの登録商標です。

目 次

1. 構成	5
1.1 構成部品	6
1.2 付属品	4
1.3 梱包	7/8
2. ダイチョーホー本体の組立	9
2.1 脚の組立	9/10
2.2 筐体を立てる	11
2.3 テーブルのセット	11
2.4 玉循環ユニットの取り付け	12-15
2.5 ケーブルの接続	16
2.6 玉戻し樋を取り付ける	16
2.7 アウト皿を取り付ける	17
2.8 研磨器の取り付け	18
2.9 研磨紙の巻き取り	19
2.10 AC24Vトランスの設置	19/20
3. ダイチョーホー本体の設置	21
3.1. ダイチョーホーⅡ &Ⅳの移動	21
3.2. ダイチョーホーⅡ &Ⅳの水準取り	22/23
4. パチンコ遊技機の設置	24
4.1. パチンコ遊技機の取り付け	24-26
4.2. パチンコ遊技機の傾斜調整	26/27
4.3. 玉を入れる	28/29
5. 操作手順	30
5.1. ダイチョーホーⅡ &Ⅳに電源を入れる	30
5.2. パチンコ遊技機の電源スイッチを入れる	30
5.3. パチンコ遊技機上皿に玉を入れる	30/31
5.4. パチンコを遊技する	31
6. 構成	32/33
7. 基本仕様	34
7.1. 玉の流れ	34
7.2. 電気部品	35
8. メンテナンス	36
8.1. 基本メンテナンス	36-38
8.2. 玉詰まりに対するメンテナンス	39
8.2.1 パチンコ台への玉の補給	39
8.2.2 循環流路内の玉詰まり	40
9. 故障診断	41
9.1. 電源	41

9.2. パチンコ玉の供給	41-43
9.3. パチンコ遊技機の固定	44
9.4. パチンコ遊技機の傾斜調整	44
9.5. ダイヨーホー本体の移動	45
9.6. ダイヨーホー本体の水準	45
ダイヨーホーⅡ保証書(ユーザー登録シート)	46
ダイヨーホーⅣ保証書(ユーザー登録シート)	47

1. 構成

1.1 構成部品

番号	名 称	機 能
1	筐体	ダイヨーホーⅡ &Ⅳのメインフレームです
2	制御ユニット	パチンコ台のデータ取得用です
3	脚部	ダイヨーホーⅡ &Ⅳを安定して設置できます
4	キャスター	自由に移動することが出来ます
5	アジャストボルト	ダイヨーホーⅡ &Ⅳの設置と水準調整に用います
6	玉補給用タンク	玉の貯留を行います
7	補給シュート	玉補給タンクからパチンコ遊技機裏側の貯留タンクや前面の上皿に玉を導きます
8	ドアスイッチ	パチンコ遊技機裏側の貯留タンクへの玉の供給を、パチンコ遊技機の開閉で入り・切りする
9	還元機	アウト玉と玉戻し樋から送られてきた玉を玉補給用タンクに戻します
10	リフトアップパイプ	還元機から玉補給用タンクに玉を持ち上げるガイドパイプ
11	貸し玉補給ノズル	パチンコ遊技機前面の上皿へ玉を導きます
12	玉出し用ハンドル	貸し玉の停止・補給を切り替えます
13	テーブル	玉箱を設置します
14	玉箱	パチンコ遊技機下皿に払い出された玉を、玉戻し樋に送ります
15	玉戻し樋	玉箱から出た玉を還元機に戻します
16	アウト皿	パチンコ遊技機からのアウト玉を還元機に戻します
17	補給センサ	玉補給タンクが満杯になったら還元機を停止します
18	ロック機構	パチンコ遊技機の固定に使用します
19	傾斜調整用ボルト	パチンコ遊技機の傾斜調整を行います
20	下部制御箱	保護スイッチやリレーの収納箱
21	電源スイッチ(昭光式)	ダイヨーホーⅡ &Ⅳ電源の入/切を行います
22	モータ保護用スイッチ	還元機モータに過電流が流れるのを保護します
23	サービスコンセント	AC100V電源
24	接続ハーネス	電源、信号を伝達します

※ 注意

- ・ パチンコ玉は付属していません、別途ご用意願います。(1,500～2,000 玉が目安です)
- ・ 錆び及び汚れが有るパチンコ玉を使用しないで下さい。玉詰まりの原因になります。
- ・ パチンコ遊技機用 AC24Vトランスは付属していません。別途ご用意願います。
- ・ サービスコンセントの電圧は AC100V／500W です。これを超える接続は行わないで下さい。(火災の原因に成ります)

1.2 付属品

ダイヨーホーⅡ &Ⅳには以下の付属品が添付されています、開封後直ぐにご確認下さい。

番号	名 称	個 数
1	・ロックハンドル	各1式
2	・工具 六角レンチ(M6, M10用) スパナ(M10用)	
3	・組み立てボルト 六角穴付きボルト(M6×16—6本) ナベ小ネジ(M4×6—8本)	
4	・水準器	
5	・電源線 (AC100V)	

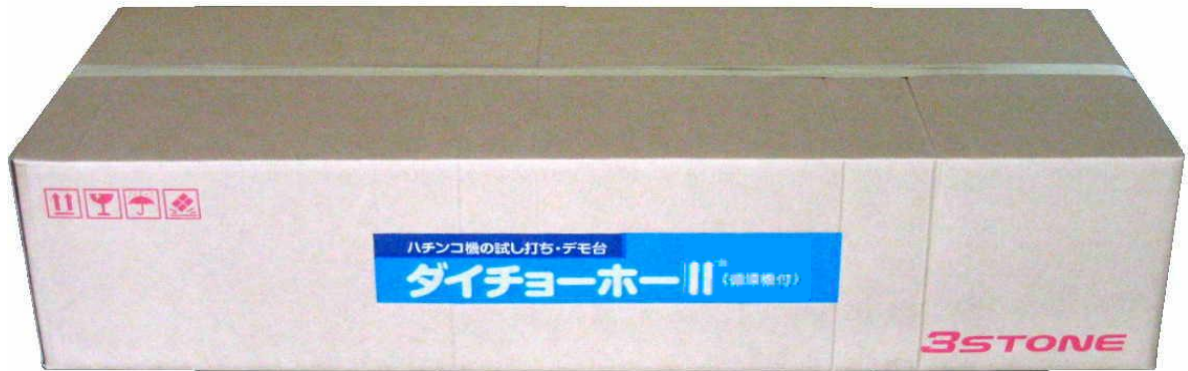


1.3 梱包

全ての部品が段ボール箱一箱に梱包されています、始めに部品が全て揃っていることをご確認ください。

もし、不足品や不具合品などがございましたら、組立を行う前に販売店までご連絡下さい。

1) 梱包箱



ダイチョーホー II & IVは全ての部品が一つの箱に梱包されていま

2) 荷姿



箱を開けた梱包状態

実際の梱包は、本体がビニール袋で覆われています。本図は、本体のビニールカバーを外した状態です。

外したビニールカバーはそのまま保存していただき、ダイチョーホー II を使用しない時のカバーとしてお使い下さい。

組み立て前に、リフトアップパイプと還元機及び付属品の箱を取り出し、内容を確認してください。

3) 還元機収納箱

還元機は筐体から外して別に梱包されています。取り付けは「2.4 玉循環ユニットの取り付け、1」還元機の取付」を参照してください。



還元機梱包姿

4) 付属品収納箱

付属品と玉箱・玉戻し樋・アウト皿は一つの箱にまとめて入っています、包装を外してご使用下さい。



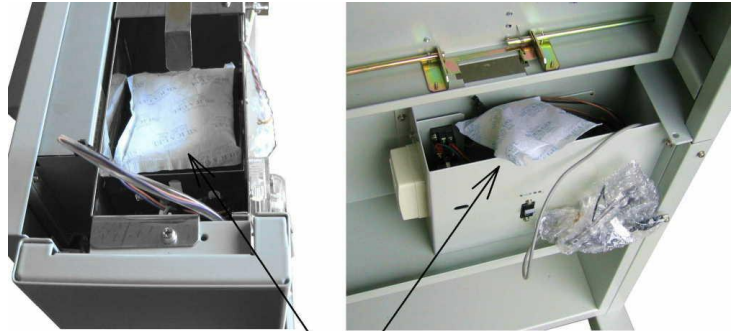
付属品梱包姿

2. ダイヨーホー本体の組立

組立は以下の手順で行って下さい。

※ 注意

- ・組立は周りに障害物の無い広い部屋で行って下さい、壁や家具などにぶつかって思わぬ破損や怪我が生じることがあります。
- ・筐体は重量が重い(約 50 Kg)ので取り扱いには充分注意を払い、手や足を挟み込まないようにして下さい。
- ・防湿のため、上部タンクとテーブル下の制御ボックスの中に除湿剤としてシリカゲルの袋が入っています、製品組立時に必ず取り除いて下さい、そのまま使用すると玉詰まりを起こします。



乾燥剤

2.1 脚の組立

筐体に脚を取り付ける。

- ・ 梱包箱から脚を取りだし、包装を外して下さい。
- ・ 左右の脚は取り付け穴位置が決まっていますので左右を間違えないように装着してください。



脚取り付け完成図

※注意

- ・筐体には位置決め用のピンがあります、左右を間違いなく取り付けて下さい。
- a) 筐体の下側(脚をつける側)を持ち上げ、手前に引いて梱包箱の縁に乗せる。



※注意

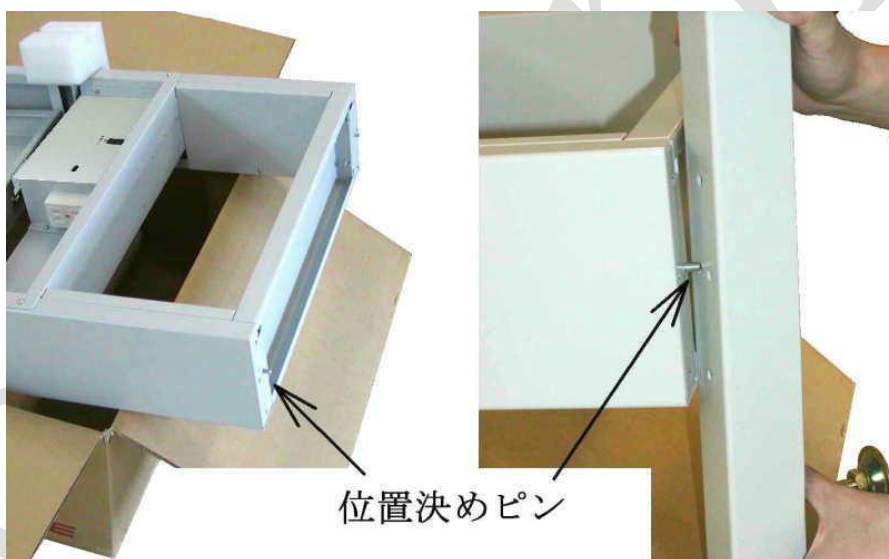
筐体を梱包箱に乗せる際、必要以上にはみ出さず緩衝材が出る程度に出して下さい。裏側のコネクタ関係を破損する恐れがあります。

b) 左右の脚を取り付ける。

左右の脚のRとLのマークを筐体のマークに合わせて取り付けて下さい。



- ・ 筐体下部から飛び出している位置決めピン(ネジ)に脚を差し込む。



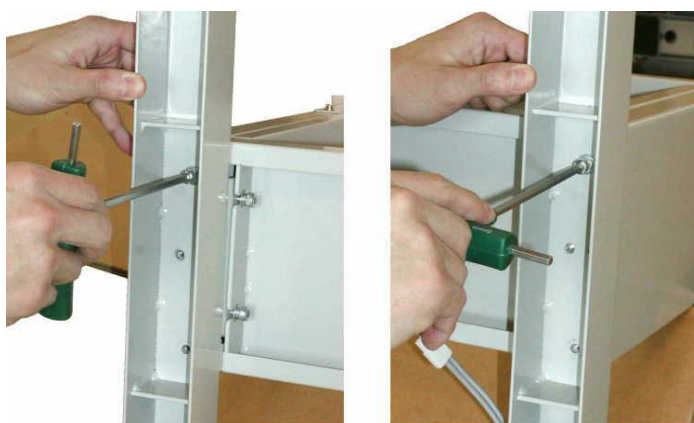
- ・ ボルトで固定する。

◇使用ボルト(付属)

六角穴付きボルト M6 × 16 – 6 本

◇使用工具(付属)

六角レンチ M6 用



左側

右側

2.2 筐体を立てる

1) 筐体を立てる

筐体の上部を上を持ち上げ、引き起こしながら筐体を立てて下さい。



※注意

- ・2人以上の人数で組立を行う場合、持ち上げ時にキャスターが動かない様に脚を固定して立ち上げて下さい。
- ・筐体を立てる際、背面の電源コネクター関係を箱に挟み破損することがあります。

- ### 2) 緩衝材と包装用ビニール袋を取る。
- 全ての緩衝材と包装を取って下さい。

2.3 テーブルのセット

1) アースケーブルを取り出す。

輸送時、テーブル下の制御ボックスの中に収納されている、パチンコ遊技用のアースケーブルを外に取り出す。



2) テーブルをセットする。

テーブルは筐体内に収納されています、固定している緩衝材を取り除いてゆっくりと外側に回転させて下さい。



※注意

- ・ テーブルをセットする際、周囲のケーブルを巻き込んだり挟み込まない様に注意して下さい、ケーブルを切断することがあります

2.4 玉循環ユニットの取り付け

1) 還元機の取付。

還元機を箱から取り出し、所定の位置にネジで取り付けます。

◇使用ネジ

ナベ小ネジ M4×6-4 本

◇使用工具

プラスドライバ（お客様でご用意下さい）



2) リフトアップパイプを取り付ける。

リフトアップパイプを還元機と筐体に取り付けます。

a) リフトアップパイプ先端にコイルホースをしっかりと差し込む。



b) リフトアップパイプを還

元機に差し込む。



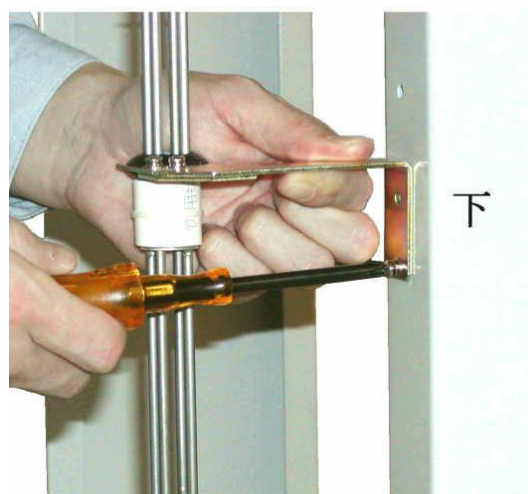
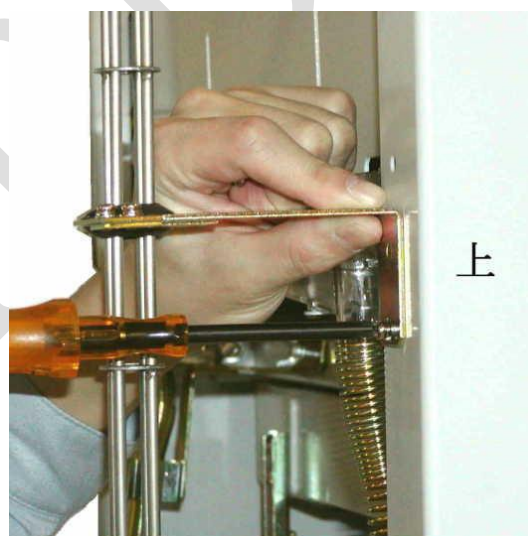
c) リフトアップパイプ保持金具を筐体にネジで固定する。

◇使用ネジ

ナベ小ネジ M4×6－4 本(金具 2 箇所)

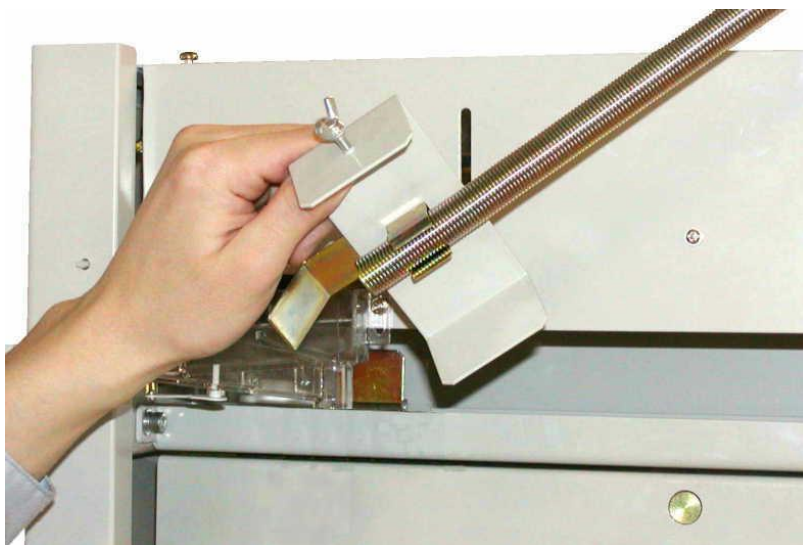
◇使用工具

プラスドライバ (お客様でご用意下さい)

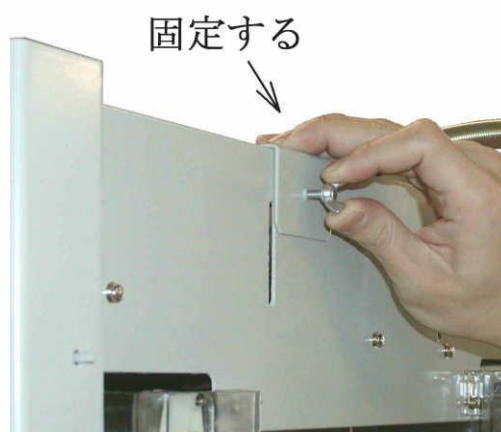
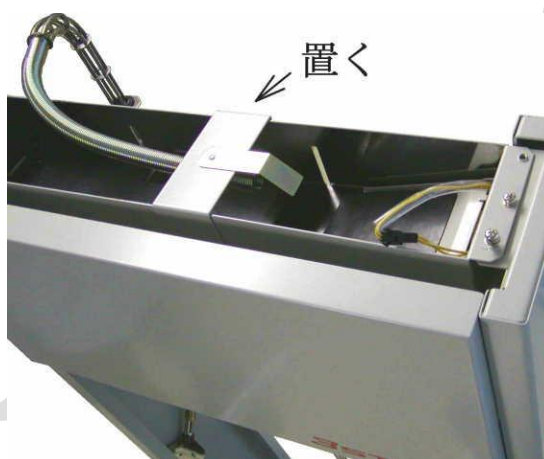


d) ホースホルダにコイルホース先端を差し込む。

玉補給用タンクに固定されているホースホルダを取り外し、コイルホースの先端を差し込む。



e) ホースホルダを玉補給用タンクにまたがせて置き、蝶ネジで固定する。



※注意

蝶ネジは必要以上に強く締めないで下さい、玉補給用タンクが変形する場合があります。

2.5 ケーブルの接続

筐体に有るコネクタにケーブルを差し込みます。

a) コネクタは、カチッとロックの音がするまで押し込んで下さい。

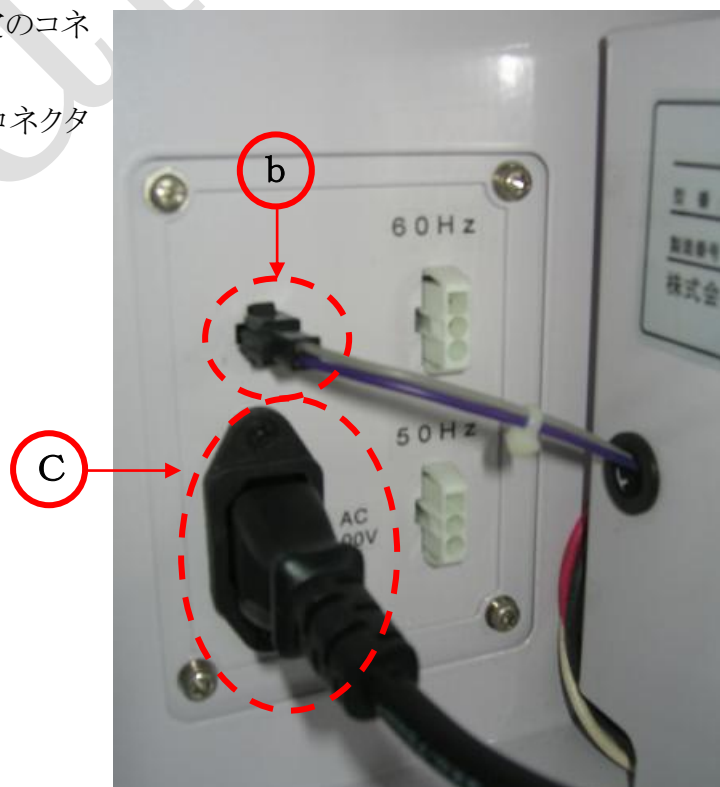
- ・ 還元機の電源ケーブルを所定のコネクタに差し込む。
- ・ 使用する場所の電源周波数によって差し込むコネクタが違います。
- ・ 60Hz 地域の場合は上側の 60Hz と表記されたコネクタに差し込んで下さい。
- ・ 50Hz 地域の場合は下側の 50Hz と表記されたコネクタに差し込んで下さい。



※注意

50Hz と 60Hz のコネクタを間違えて差し込むと、モータ保護用のスイッチが誤動作をする場合があります。使用する場所の電源周波数の資料を添付してありますのでお調べの上、間違いの無いように接続して下さい。

- b) 還元機の信号ケーブルを所定のコネクタに差し込む。
- c) 電源ケーブルを裏面左下のコネクタに差し込む。

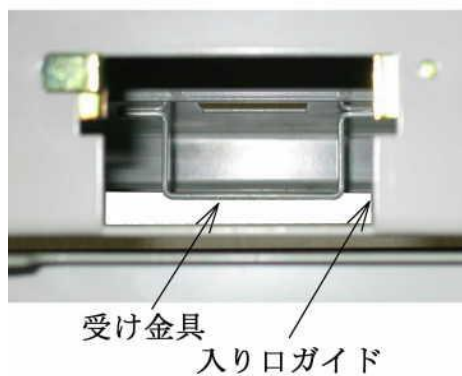


2.6 玉戻し樋の取り付け

パチンコ遊技機の前皿に貯まった玉を還元機に戻す「玉戻し桶」を取り付けます。

a) 取り付け

- ・玉戻し桶を入り口ガイドから差し込んで、先端をテーブル下の受け金具に差し込む。



- ・玉戻し桶で抜け止めレバーを押し込みながら、入り口ガイドにフックを掛けて下に降ろす。



押し込みながら下に降ろす

b) 取り外し

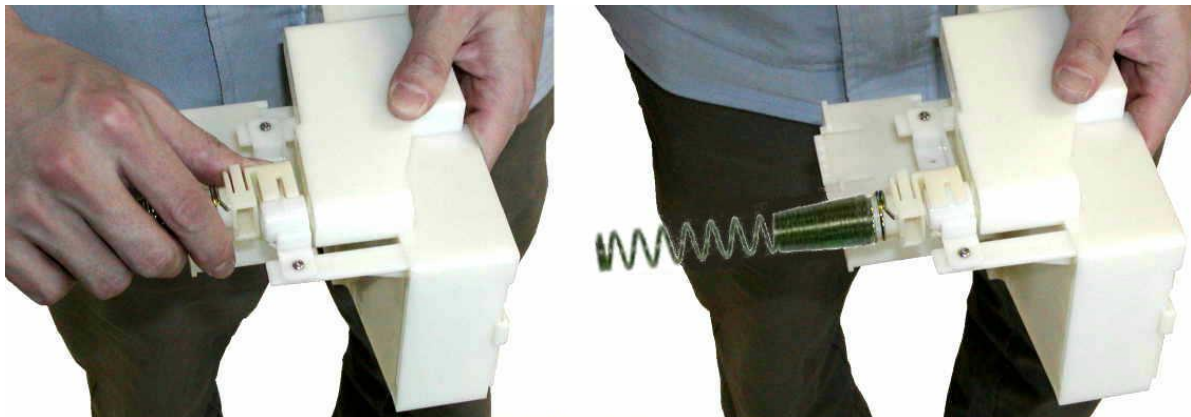
- 横の抜け止めレバーを押し込んだ状態で、戻し桶を上を持ち上げながら手前に引く。



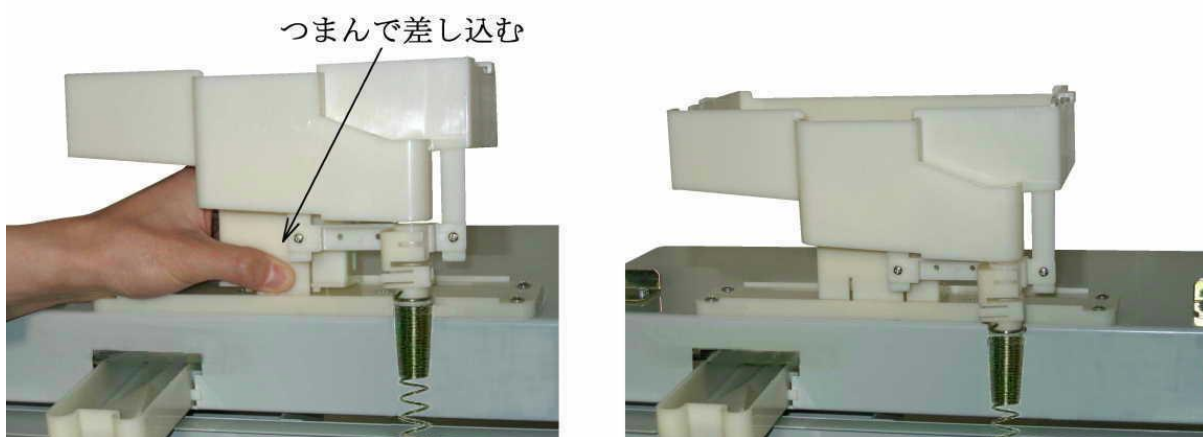
2.7 アウト皿を取り付ける

パチンコ遊技機から排出されるアウト玉を集めるアウト皿を取り付けます。

- a) アウト皿に排出パイプを取り付ける。



- b) アウト皿をダイショーホー皿に取り付けて有るベースに差し込む。

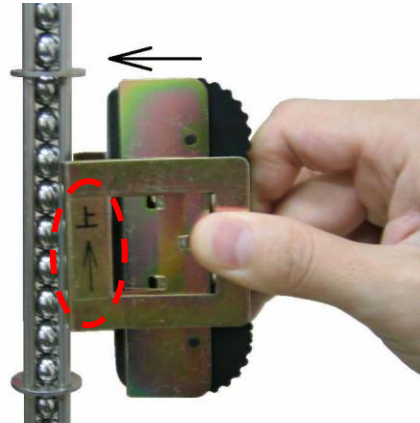


- c) アウト玉カウント用の通過センサーを排出パイプのセンサーホルダに差し込む。
通過センサを指でつまみ、センサホルダの角穴にカチッと音がするまで差し込む。



2.8 クリーニングテープ(研磨器)の取付

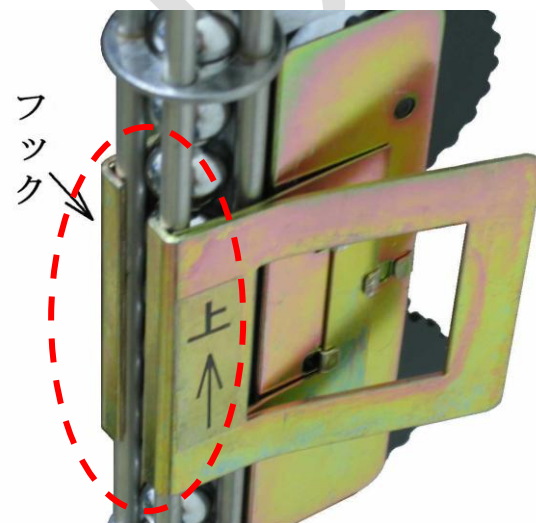
- a) グリップを指でつまんでフック部を広げ、そのままリフトアップパイプのフランジ間に差し込み、押しつけて指を離す。



※注意

- ・取付の際「上↑」を必ず上に向けてください、逆向きに装着すると研磨紙が弛んで研磨出来ない場合があります。

- b) 研磨器のフックが、リフトアップパイプの支柱を挟んで動かない事を確認する。



※注意

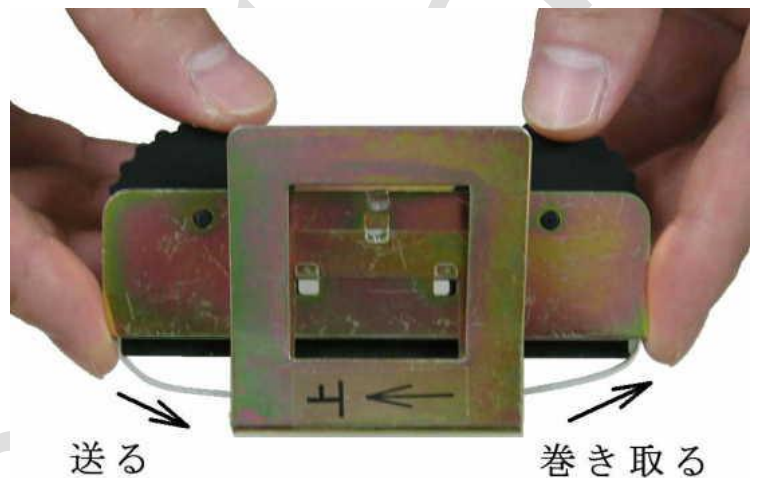
- ・研磨器は最大2個まで取り付ける事が出来ます。3個以上取り付けると還元機のモータに過大な負荷が掛かり、故障の原因になりますのでお止め下さい。

2.9 研磨紙の巻き取り

本研磨器は、研磨紙にパチンコ玉をコスリ付けることでパチンコ玉の汚れを取り除く方式ですので、定期的に汚れた研磨紙を巻き取る必要が有ります。

通常は運転8時間毎に行いますが、玉の汚れがひどい場合は、研磨紙の汚れ具合を見ながら随時行ってください。

- a) 研磨器をリフトアップパイプから外す。
グリップを指でつまんでフック部を広げ、そのままリフトアップパイプから取り外す。
- b) 未使用紙側のボビンを回して研磨紙を送り出す。
- c) 汚れた研磨紙を巻き取る。
- d) 汚れた部分が巻き込まれたら未使用側を巻き取って弛みを無くす。
- e) 研磨器を取り付ける。



※注意

- ・汚れ巻き取り側ボビンは逆転出来ない様になっています、強引に逆転させると壊れる恐れが有りますので巻き取り過ぎにご注意下さい。
- ・本研磨器には 20 回分の研磨紙が巻き込まれています、研磨紙を使い終わった場合は新しい研磨器(別途代理店にご用命下さい)に交換してください。

2.10 AC24V トランスの設置

ダイヨーホーⅡ &Ⅳは、お客様が用意された AC24V トランスを筐体下部に収納することが出来ます。

- 1) AC24V トランスを制御箱左側の収納位置に置く事が可能です。



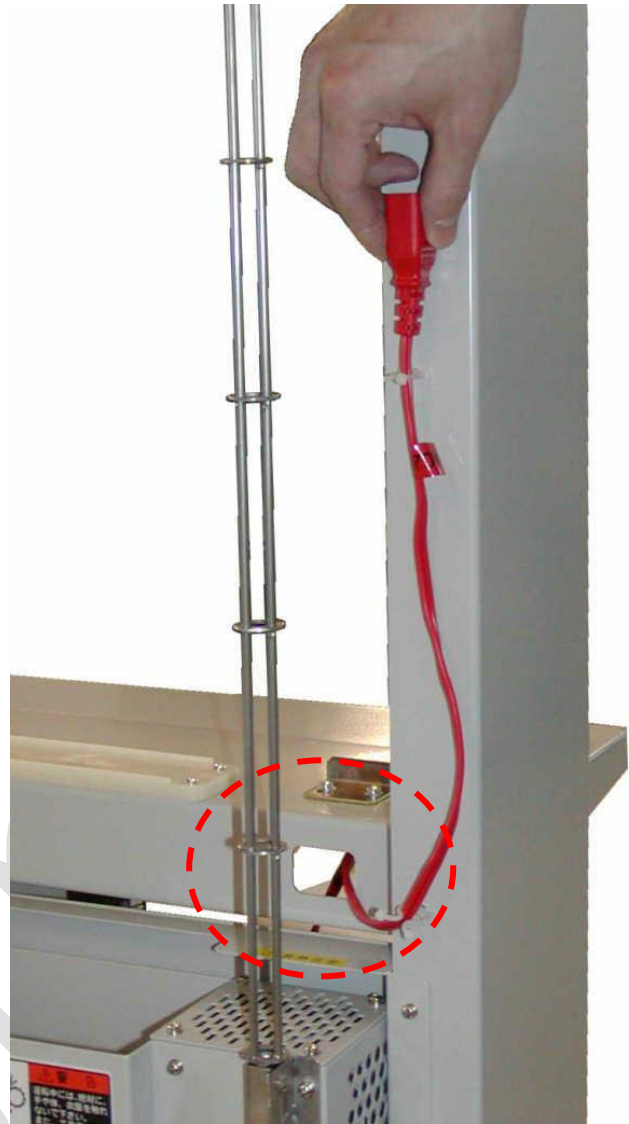
- 2) トランスの電源ケーブル(AC100V)
をサービスコンセントに差し込み、余
長をまとめて後ろに置く。



- 3) AC24V ケーブルを背面の専用穴から裏側に
引き出す。



- 4) 筐体右側後面に出す取り出し穴より AC24V ケーブルを引き出します。
また、トランスは客先様のお持ちの
トランスをご使用になっても問題
ございません。



3. ダイチョーホー本体の設置

快適にお使いいただくためにダイチョーホーⅡ &Ⅳを最適な状態で設置します。
ダイチョーホーⅡ &Ⅳの設置は以下の手順で行って下さい。

3.1 ダイチョーホー本体の移動

ダイチョーホーⅡ &Ⅳは脚にキャスターを有していますので、設置する場所に簡単に移動させることができます、ダイチョーホーⅡ &Ⅳのフレームを押して設置場所に移動して下さい。

※注意

- ・ ダイチョーホーⅡ &Ⅳは、極力平坦で水平な場所に設置してください。
- ・ 傾斜が 3°(50/1000)を超える場所では水準が取れない場合があります。

3.2 ダイチョーホーⅡ &Ⅳの水準取り

ダイチョーホーⅡ &Ⅳを動かない様に固定するため、水準を取るため脚にアジャストボルトを装備しています。

より快適にお使い頂く為に、アジャストボルトを使用して必ず水準取りを行って下さい。

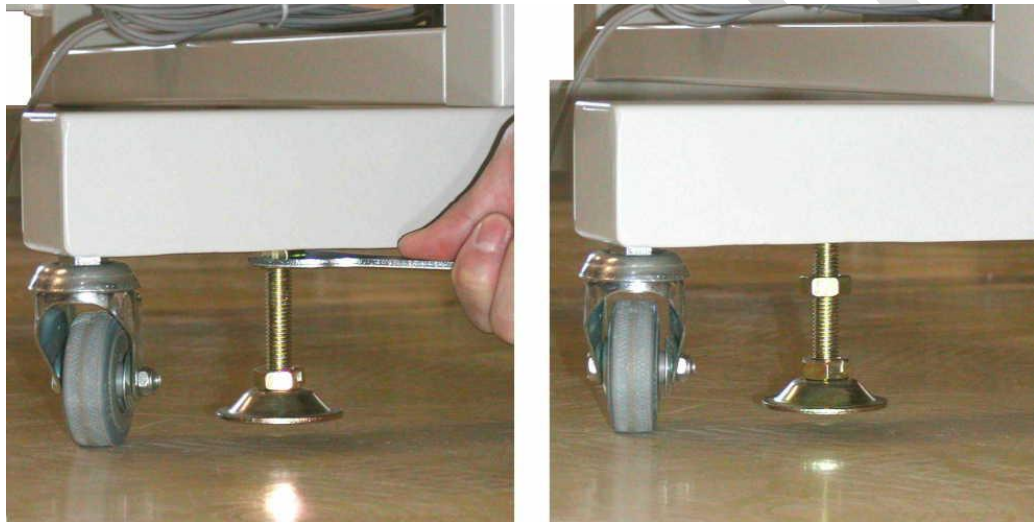
◇使用工具:縦型水準器

スパナ(M10 用)

※注意

・水準取りは必ず行ってください。水準を取らないでご使用になった場合、玉の流れが悪くなって玉詰まりを起こす可能性が有ります。

- 1) 4本のアジャストボルトのロックナットを緩める。



- 2) 各キャスターが2～3mm 床から浮く様に4本のアジャストボルトを下に降ろす。

- 3) 前後方向の傾きを調整

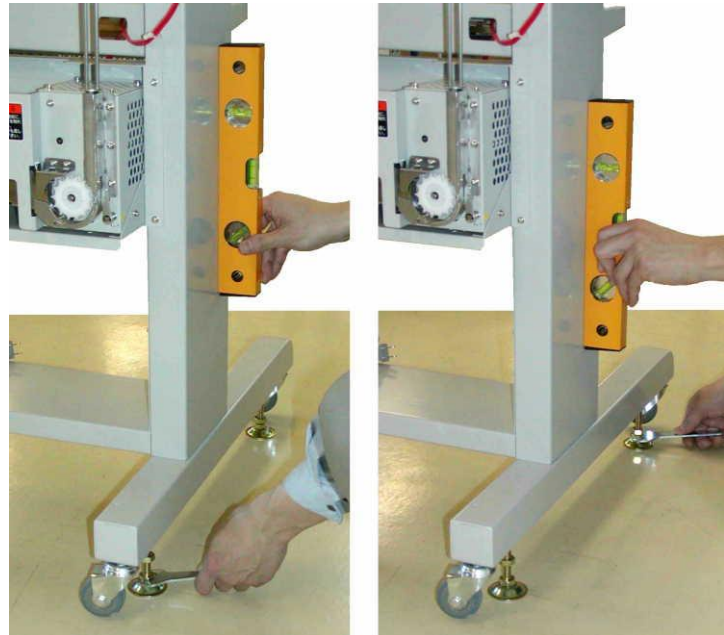
- a) ダイチョーホーⅡ &Ⅳのフレーム前面(後面、左右どちらでも良い)に水準器を当て、どちら側に傾いているか測定する。
- b) 倒れている側のフレーム面に(前面或いは後面)水準器を当て、フレームが垂直になるまで左右のアジャストボルトを下方に均等に降ろす。



4) 左右方向の傾きを調整

a) ダイヨーホーⅡ &Ⅳのフレーム側面(左右どちらでも良い)に水準器を当て、どちら側に傾いているか測定する。

b) 倒れている側のフレーム側面に水準器を当て、フレームが垂直になるまで前後のアジャストボルトを下方に均等に降ろす。



5) 前後左右の傾きを再度確認

前後左右の傾きを再度確認して下さい、もしずれていたら、再度ずれている方向の傾きの調整を行う。

以上でダイヨーホーⅡ &Ⅳの全ての組立と設置が終了しました、パチンコ遊技機を取り付けて遊戯することが出来ます。

4. パチンコ遊技機の設置

4.1 パチンコ遊技機の取り付け

ダイヨーホーⅡ&Ⅳは、パチンコ遊技機と枠を外すことなく、そのままワンタッチで取り付けることが出来る、ワンタッチロック機構を標準装備しています。以下の手順で取り付けして下さい。

- 1) テーブルの上に有る玉箱を取り外す。

- 2) 筐体上部のカバーを開ける。

筐体上部のカバーを軽く押すとカバーの下部が持ち上がります、カバー下部を持って垂直になるまで上方に持ち上げ、そのまま下方におろす。

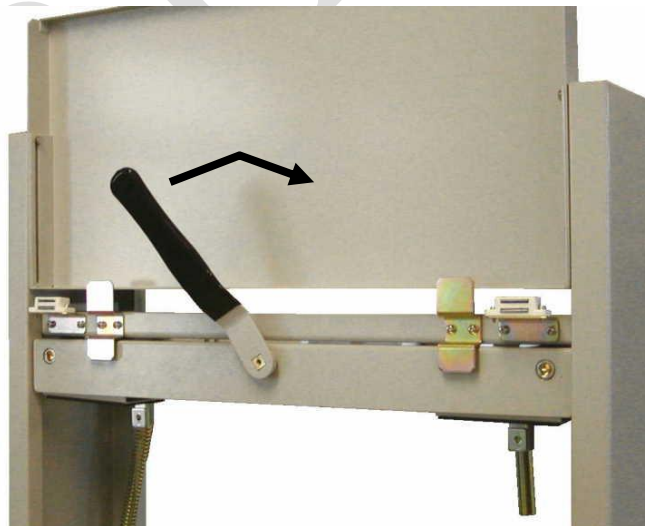


カバーの下端を手前に引く

カバーを上上げる

そのまま下に降ろす

- 3) ロックハンドルをロック軸に左斜め上方を向く様に差し込む。



4) パチンコ遊技機を取り付け

- a) パチンコ遊技機を枠付きのまま持ち上げテーブルの上に乗せる。
- b) パチンコ遊技機を上下のストッパにぶつかるまで後方に押す。
- c) 左手でパチンコ遊技機を押さえ、右手でロックハンドルを時計方向に 90° 廻す。



テーブルに乗せる



後方に押す



ロックハンドルを右から左へ回す

5) この操作でパチンコ遊技機が固定されます。ロックハンドルを取り外す。

6) 上部カバーを開けた時の逆に操作しカバーを締めてください。

7) 玉箱の吐出口を、テーブルに有る戻し穴に差し込んで玉箱をパチンコ遊技機の下皿玉出し口下に置く。



8) 貸し玉補給ノズルをパチンコ遊技機の上皿位置にくるように蛇腹ホースを調節する。

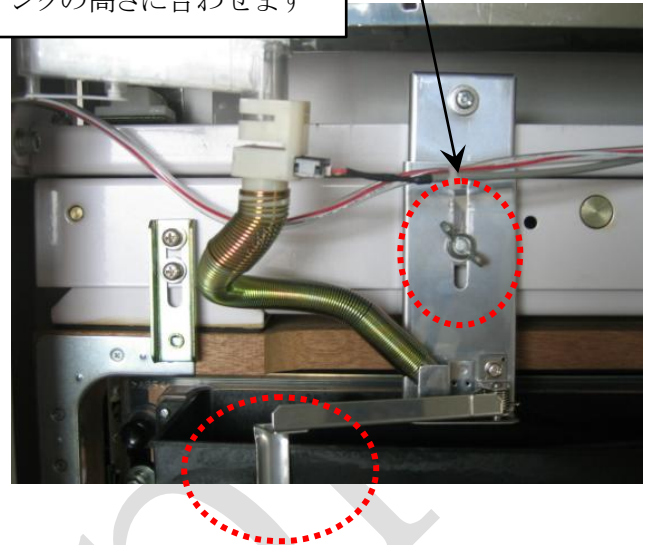
補給玉の停止は、玉補給ノズルの先端を補給した玉でふさぐ事により停止しますので、ノズルの玉出口の向きと位置を調節して、玉出口が上皿の中に有る様に調節して下さい。



- 9) 補給シュートから出た玉が、パチンコ遊技機裏側の貯留タンクに集まるようにコイルホースの位置を調節する。

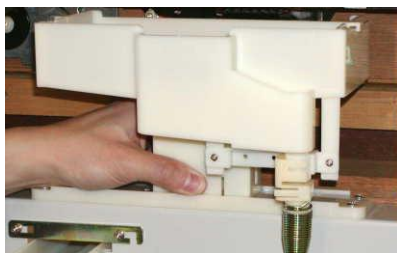
補給玉の停止は、コイルホースの先端を補給した玉でふさいで行います
コイルホースの先端が貯留タンクの中に
有る様に調節して下さい。

蝶ネジで機械台の貯留タンクの高さに合わせます



- 10) パチンコ遊技機のアウト玉出口にアウト皿を合わせる。

アウト皿を左右にスライドさせて左右を、移動皿を前後に動かして奥行きを、アウト皿を上下して高さを調節し、アウト玉がアウト皿に落ちるように合わせます。



左右の調節



奥行きの調節



高さの調節

4.2 パチンコ遊技機の傾斜調整

ダイヨーホーⅡは、パチンコ遊技機の傾斜を簡単に調整することが出来る機構を標準装備しています。

◇使用工具：傾斜計

六角レンチ(M10 用)

- 1) 筐体上部のカバーを開ける。

筐体上部のカバーを垂直になるまで上方に持ち上げてそのまま下方におろす。

「4.1-2」筐体上部のカバーを開ける。」参照。

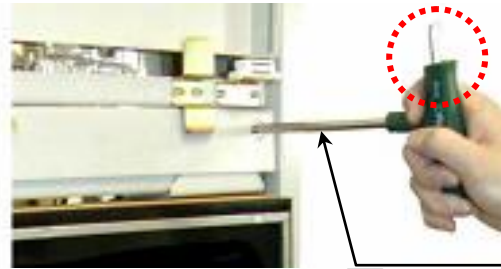
2) 傾斜を調整

パチンコ遊技機左右どちらかの基準面に傾斜計を当て、傾斜計を当てた側の調節ボルトを目的の傾斜になるまで廻す。

傾斜計は、枠での傾斜及びセル盤での傾斜で調整をお願いします。

下記の傾斜調整は、セル盤傾斜計(当社オリジナル)を使用した画像です。

片方が終わったら、もう一方の基準面に傾斜計を当て、目的の傾斜になるまで調節ボルトを廻す。



六角レンチ
(付属品)



セル盤傾斜計を使用

※注意

・上記六角レンチ赤点線丸の部分を一回転させると傾斜が 5 度分移動できます。

傾斜角度を大きく変更する場合、片側の調節ボルトを一度に廻さないで、左右を均等に傾斜させる様に行ってください。

2) 傾斜調整が終了後は、上部カバーを上を持ち上げて手前に引きながら下に降ろし、カバーを締めてください。

4.3 玉を入れる

ダイヨーホーⅡ &Ⅳとパチンコ遊技機にパチンコ玉を入れます。

玉の量は 1700～2000 玉を目安とし、パチンコ遊技機に玉を供給した後に補給用タンクが満杯で止まった時、還元機の中に玉がほとんど残っていない状態が最適で、もし還元機内に玉が残っている場合は玉を抜いてください。

少ない玉で使用する場合は、補給センサの位置をセンター方向に移動して最適な状態でご使用下さい。

補給センサーは3)項に取り付けビスの説明がありますのでご確認ください。

1) ダイヨーホーⅡ &Ⅳに電源を入れる。

- 主電源スイッチを ON にしてダイヨーホーⅡ &Ⅳに電源を入れま。
この時、スイッチのランプが点灯することを確認してください。
- モータ電源スイッチのマークが倒れていると ON になっています。確認してください、ON に成っていないと還元機が動作しません。



2) 還元機の皿にパチンコ玉を投入する。

還元機にパチンコ玉を入れると還元機が玉補給用タンクに玉を持ち上げ、すぐに遊技が出来る状態になります。

※注意

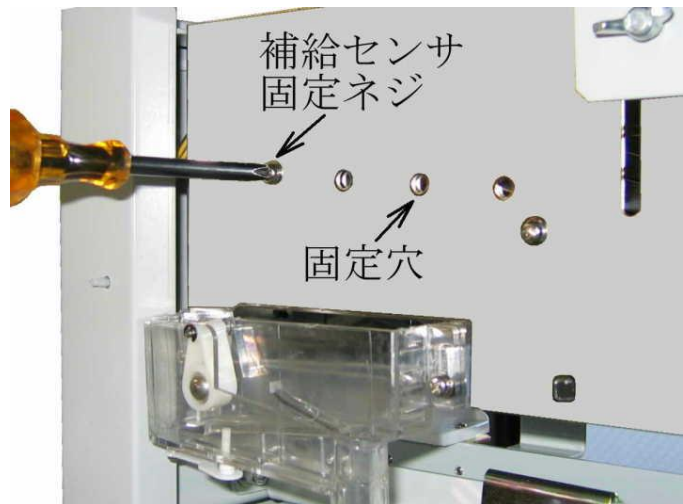
一度に多量の玉を還元機の皿の落とし口付近に投入すると玉詰まりを起こす場合が有ります、極力何回かに分けて投入して下さい。



3) 玉補給用タンク内の玉の量を確認して補給センサの位置を変える。

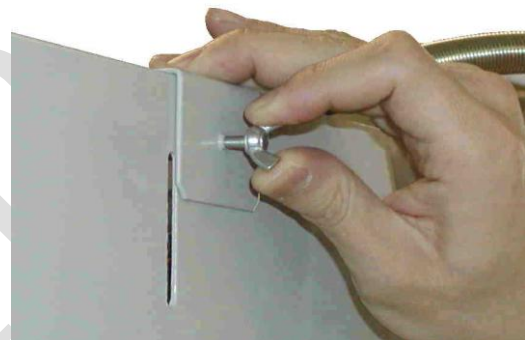
・補給センサの位置により補給タンク内の玉の量が変わります、少ない玉で遊技する場合は、補給センサをセンター方向に近づけて下さい、又玉の量が多い場合は出来るだけ遠ざけて下さい。

・補給センサを固定しているネジを外して別の固定穴の位置に移動し、固定ネジで再固定する。

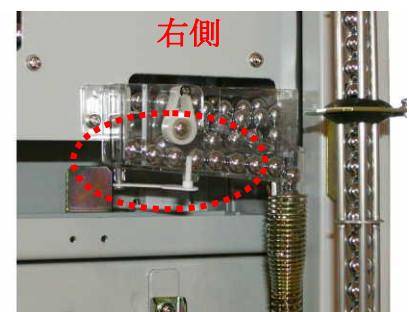
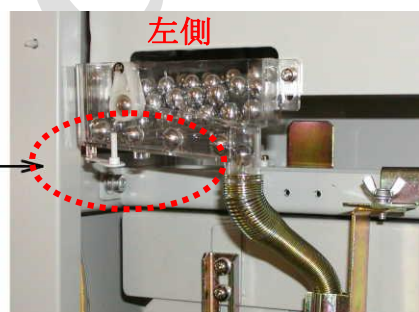


4) 補給センサの位置と玉の量にあわせてホースホルダの位置を調節する。

・蝶ネジを緩めてホースホルダを移動し、位置が決まったら蝶ネジを締めて固定する。



5) 玉補給用タンクの利用側にある補給シュートのストップピンを下に引き抜いて外す。



※注意

パチンコ遊技機を開ける際、シュートを止めずに開けると玉がこぼれ落ちます、必ず貯留タンク側のシュートをストップピンで止めてください。

以上で全ての組立・調整が終了しました、パチンコをお楽しみ下さい。

5. 操作手順

パチンコを遊戯する場合は、以下の手順で行ってください。

5.1 ダイヨーホーⅡ &Ⅳに電源を入れる

主電源スイッチを ON、モータ電源をONにして下さい。

5.2 パチンコ遊技機の電源スイッチを入れる

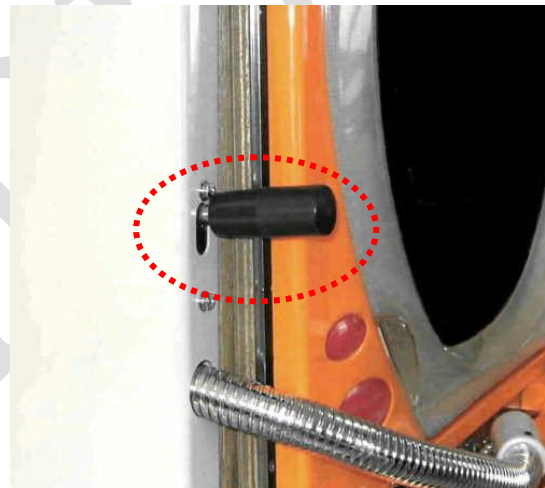
パチンコ遊技機裏面の電源スイッチを入れて下さい。

5.3 パチンコ遊技機上皿に玉を入れる

パチンコ遊技機上皿には、玉出し用ハンドルを操作して玉補給ノズルから玉を供給します。
玉出し用ハンドルには3つの機能が有ります。

a) 玉をストップする

ハンドルが上の位置に有る場合、玉は供給されません。



b) 任意量の玉出し

ハンドルを下に押し下げると押している間だけ玉が出て来ます。



c) 連続玉出し

ハンドルを下に押し下げたまま手前に引くと、ハンドルは押し下げた状態で固定され、玉は連続して出て来ます。

連続うちをされるような場合にご使用下さい。

玉を止める場合は、ハンドルを筐体側に押すことによりハンドルの固定を解除することが出来ます。



5.4 パチンコを遊技する

パチンコ遊技機を打ち始めると入玉はアウト皿を、出玉は玉箱を経由して還元機に送られ、還元機に貯まった玉はリフトパイプを経由し玉補給用タンクに持ち上げられて自動的に玉が循環します。

たとえば手放しで玉を打ち続ける場合は、ハンドルをハンドル固定ベルト(別売)を使用し本体に付属されているアース線と接続することで可能になります。

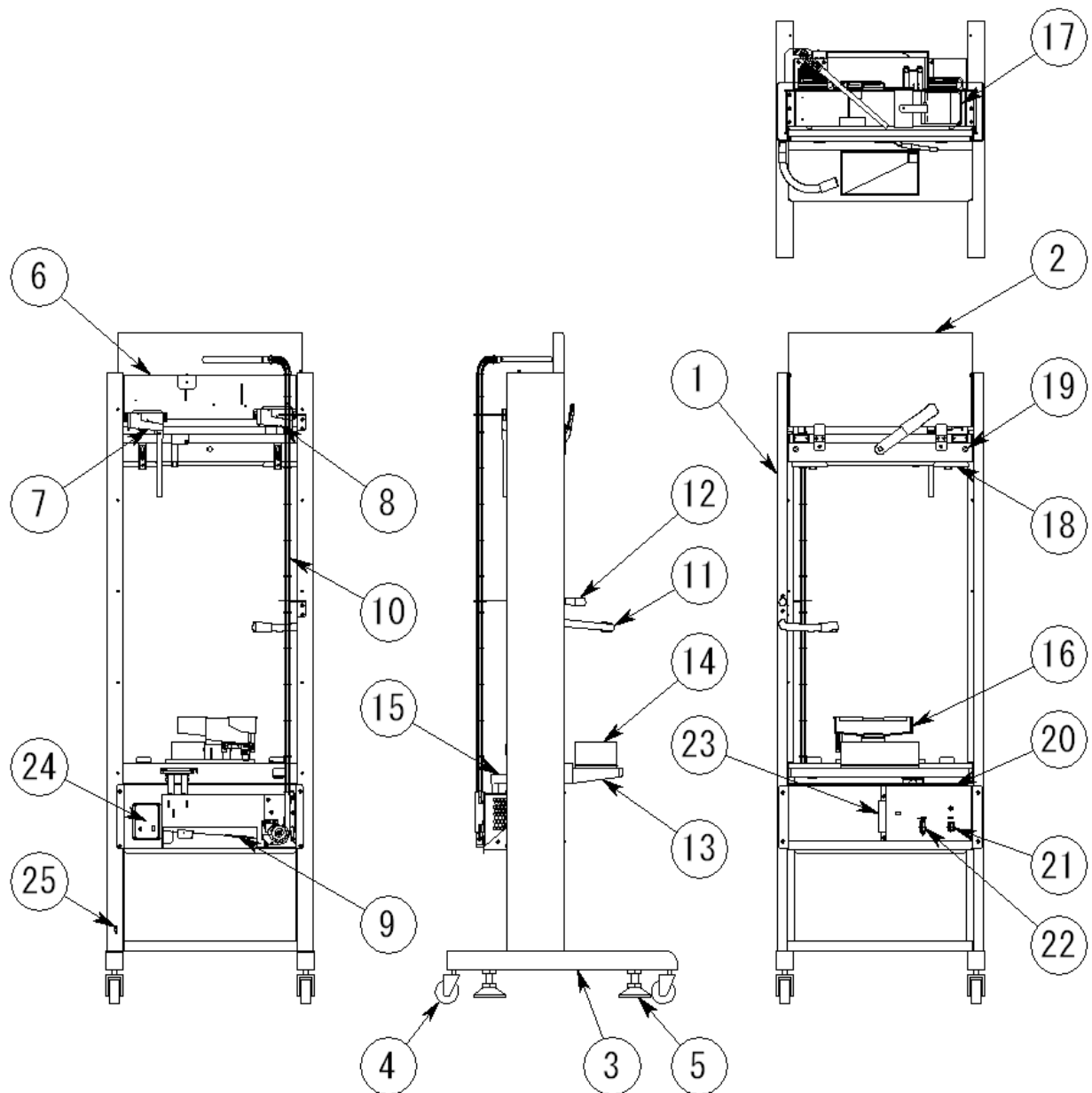
※注意

- ・遊技を始めると共に玉は循環を始めます。
- ・ダイヨーホーⅡ &Ⅳは AC100V で動作しています、濡れた手でプラグの抜き差しなどを行わないで下さい、感電や漏電の原因になります。
- ・パチンコ遊技機が CR 機の場合、パチンコ遊技機に CR サンド或いは CR アダプタが取り付けられていないとパチンコ遊技機は動作しません
(CR アダプタは別売品として用意しております)別途ご御確認下さい。

6. 構 成

ダイチヨーホーⅡ &Ⅳの構成は以下の通りです。

ダイチヨーホーⅡ &Ⅳ構成図



番号	名 称	機 能
1	筐体	ダイチヨーホーⅡ &Ⅳのメインフレームです
2	前カバー	ロック機構部のカバーです
3	脚部	ダイチヨーホーⅡ &Ⅳを安定して設置できます
4	キャスター	自由に移動することが出来ます
5	アジャストボルト	ダイチヨーホーⅡ &Ⅳの設置と水準調整に用います
6	玉補給用タンク	玉の貯留を行います
7	補給シュート	玉補給タンクからパチンコ遊技機裏側の貯留タンクに玉を導きます

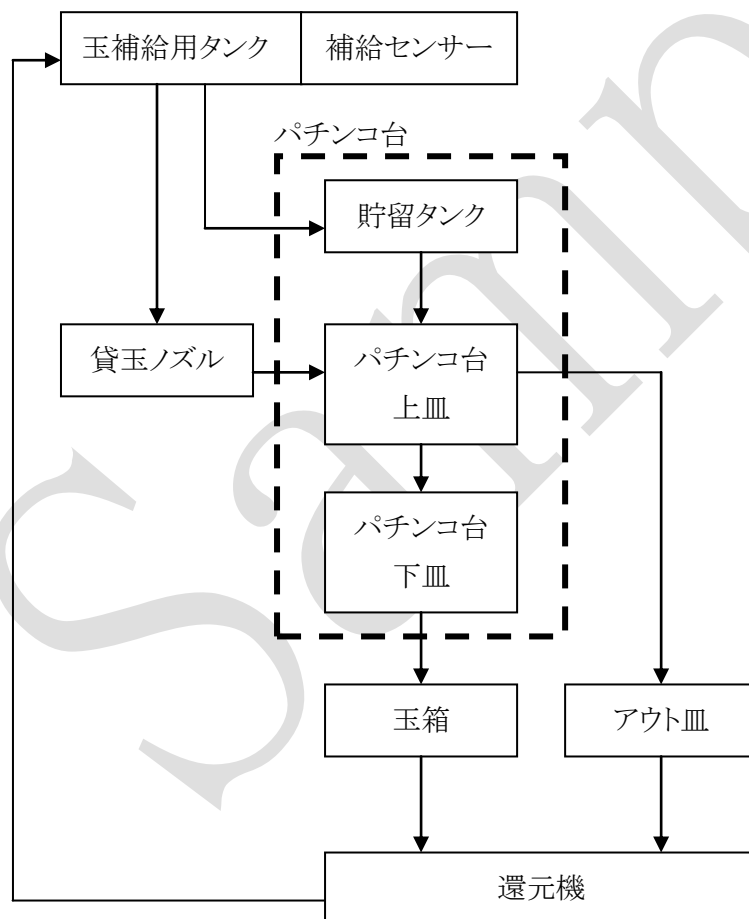
番号	名 称	機 能
8	貸し玉補給シュート	玉補給タンクから貸し玉補給ノズルへ玉を導きます
9	還元機	アウト玉と玉戻し樋から送られてきた玉を玉補給用タンクに戻します
10	リフトアップパイプ	還元機から玉補給用タンクに玉を持ち上げるガイドパイプ
11	貸し玉補給ノズル	パチンコ遊技機前面の上皿へ玉を導きます
12	玉出し用ハンドル	貸し玉の停止・補給を切り替えます
13	テーブル	玉箱を設置
14	玉箱	パチンコ遊技機下皿に払い出された玉を還元機に戻す
15	玉戻し樋	玉箱から出た玉を還元機に戻す
16	アウト皿	パチンコ遊技機からのアウト玉を還元機に戻す (皿の位置は各パチンコ遊技機に合わせて調節出来ます)
17	補給センサ	玉補給タンクが満杯になったら還元機を停止します
18	ロック機構	パチンコ遊技機の固定に使用します
19	傾斜調整用ボルト	パチンコ遊技機の傾斜調整を行います
20	制御BOX	AC100V電源やリレー制御の収納箱
21	主電源スイッチ	ダイヨーホーⅡ電源の入/切を行います
22	モータ電源スイッチ	還元機モータに過電流が流れるのを保護します
23	サービスコンセント	AC100V電源(2個口)
24	接続ハーネス	AC100V電源、還元機信号、モータ電源周波数

7. 基本仕様

ダイチヨーホーⅡ&Ⅳの基本仕様は以下の通りです。

7.1 玉の流れ

- ・台から出てくる外れ玉或いは入賞玉は、アウト皿で受けて還元機に戻します。
 - ・入賞による出玉は初めに上受け皿に出、溢れた玉は下受け皿から玉箱に落として玉箱に開いている穴から還元機に戻します。
 - ・還元機に集められた玉は、還元機により玉補給用タンクに持ち上げます。
 - ・還元機は、還元機が空になるか玉補給用タンクが一杯になると停止しします。
 - ・玉補給用タンクに貯まった玉は、パチンコ台の上受け皿或いは貯留タンクに送られます。
- 以上の流れは、下図「玉の流れと制御」の様になります。



7.2 電気部品

1) 昭光式スイッチ(橙色)

8SW216A-A

定格容量 16A, AC125V

相模電子工業

2) サーキットプロテクタ

TN-1-A1E

定格容量 1A, AC250V

日本サーモ

3) サービスコンセント

WK1021W

最大使用電流 5A, AC100V

松下電工

8. メンテナンス

8.1 基本メンテナンス

ダイチヨーホーⅡは機械製品で、いつまでも快適にご使用いただくためにはメンテナンスが必要です。

メンテナンスは、定期メンテナンスと不定期なメンテナンスとに別れ、以下のメンテナンス表に基づいて実施して下さい。

No	項 目	点検方法	処 置	間隔	工具	備 考
1	ダイチヨーホーⅡの水準	ダイチヨーホーⅡの水準が変わっていないことを確認する	水準がずれている場合は水準取りを実施する	半年毎	水準器	「3.2 ダイチヨーホーⅡの水準取り」参照
2	外 観	ネジの緩み	ダイチヨーホーⅡの上部を前後左右に押して、揺れたり軋んだりしないか点検する ユニットを固定しているネジを増し締めし、緩んでいないか点検する	1年毎	+ドライバ、六角レンチ (M6用)	見える範囲のネジについて行う
		傷と凹凸	塗装面に有害な傷や凹凸が無いか点検する	随時		
		変形	脚や支柱が変形していないか点検する 変形している場合は、水準のずれを確認する 水準がずれている場合は水準を取る	随時		脚や支柱が大きく変形して水準が取れない場合は、全てメーカー修理とする
		汚れ	美観を阻害する汚れが有るか点検する 汚れている場合は、雑巾に薄めた中性洗剤を付けて拭き取る 汚れが油性の場合はアルコールを雑巾に湿らせて拭き取る	随時	雑巾 中性洗剤 アルコール	

No	項 目		点検方法	処 置	間隔	工具	備 考
3	玉補給用タンク	補給センサ	ブレーカをOFFにした後玉補給用タンク内部の玉を抜き、ブレーカをONにして還元機で玉を持ち上げながら補給センサを手で押して還元機が停止することを確認する	還元機が停止しない場合は、補給センサのリミットスイッチが壊れています 補給センサを交換する	半年毎		玉補給用タンクから玉が溢れ出る場合も補給センサを点検する 補給センサの交換はメーカー修理とする
		循環する玉の量	補給センサが働いて還元機が停止しても、還元機内に玉が大量に残るか点検する	大量に残る場合は、補給センサの位置を玉補給用タンクの端に移動する 補給センサが端一杯の場合は、循環する玉が多すぎるため還元機内に玉が残らないように抜き取る	随時		
		汚れ	皿の内部と流路に玉の流れを悪くする汚れやゴミが無いか点検する	汚れている場合は、雑巾に薄めた中性洗剤を付けて拭き取る 汚れが油性の場合はアルコールを雑巾に湿らせて拭き取る ゴミが有る場合は清掃する	一月毎	雑巾 中性洗剤 アルコール	シンナー等の揮発性の薬品は使用しないこと

No	項 目		点検方法	処 置	間隔	工具	備 考
4	還元機	空玉センサ	補給センサが働いていない時、還元機が玉を補給用タンクに上げるか点検する 還元機の中に玉が無いのにモータが回っている	玉が上がらない場合、又は玉が無いのにモータが回る場合は空玉センサが壊れています リミットスイッチを交換する		プラスチックバ	還元器から玉が溢れ出る場合も空玉センサを点検する リミットスイッチ或いはモータ不良の場合は、全て還元機を交換する
		モータ	モータの回転が遅くなっていないか確認する モータが一定速度で回っていることを確認する 異音が出ていないか確認する	異常が有る場合は還元機を交換する	随時 循環が不良と思われた時		
		汚れ	皿の内部と流路に玉の流れを悪くする汚れやゴミが無い点検する	汚れている場合は、雑巾に薄めた中性洗剤を付けて拭き取る 汚れが油性の場合はアルコールを雑巾に湿らせて拭き取る ゴミが有る場合は清掃する	一月 毎		雑巾 中性洗剤 アルコール
5	ロック機構	ロックの緩み	ロックハンドルをロック方向に回し、ロックが正常で有ることを確認する	ロックが緩んでいる場合はハンドルを回してしっかりとロックする	一月 毎	ロックハンドル	—
		傾斜の確認	パチンコ遊技機に水準器を当て、傾斜が設定外になっていないか確認する	傾斜が設定外の場合は、ダイチヨーホーⅡの水準を確認する 水準が正常な場合は、傾斜を再調整する	三月 毎		「ダイチヨーホーⅡの水準取り」参照 「3.3パチンコ遊技機の傾斜調整」参照

8.2 玉詰まりに対するメンテナンス

8.2.1 パチンコ台への玉の補給

ダイヨーホーⅡ &Ⅳに於いて玉詰まりが起きてパチンコ台への玉の補給が途絶えた場合は、玉補給用タンク内に玉が有るか、玉補給用タンクからパチンコ台貯留タンクと前面上皿へのコイルホース内に玉が切れ目無く充填されているか、還元機に玉が戻っているかを目視で点検して玉詰まりの箇所を特定する。

No	項 目	原 因	処 置	備 考
1	玉補給用タンク内に玉が無い	補給センサが作動したままになっている	補給センサを点検し、修復しない場合は補給センサを交換する	補給センサの交換は販売店にご依頼下さい
		還元器が玉詰まりをしている	還元器を点検し、玉詰まりをとる	
		還元機内に玉が有る場合、還元機の空玉センサーが壊れた	還元機を交換する	還元機の交換は販売店にご依頼下さい
2	パチンコ台貯留タンク或いは前面上皿へのコイルホース内に玉が無い	玉補給用タンク内で詰まっている	玉補給用タンク内の玉詰まりをとる	—
		シュート部で詰まっている	シュート部の玉詰まりをとる	
		シュートを固定しているネジが緩んでシュートの位置がずれ、玉が落ちて行かない	シュートを再取り付けする	シュートの取り付けは販売店にご依頼下さい
3	還元器に玉が戻っていない	玉箱が玉で一杯になっている	玉戻し流路を点検し、詰まっている場合は玉詰まりをとる	—
			玉箱を点検し、詰まっている場合は玉詰まりをとる	
		アウト皿が玉で一杯になっている	玉詰まりをとる	

8.2.2 循環流路内の玉詰まり

ダイチヨーホーⅡ &Ⅳの玉経路内で詰まった場合は、以下の項目を点検する。

No	項 目	原 因	処 置	備 考
1	玉補給用タンク	本体上皿部で詰まっている	上皿部の玉を手で攪拌する 攪拌しても改善しない場合は、玉を外部に取り出して再度補給する	—
		内部流路部で詰まっている	上皿部の球を全て取り出し、上皿を外して内部の詰まっている部分を取り除く	
		シュート部で詰まっている	詰まっている部分を細い棒で突つつく、玉を取り除く	
2	アウト皿	皿の落とし口で詰まっている	詰まっている部分の玉を取り除く	—
		流路部で詰まっている	流路が詰まった場合は、細い棒で突つつ	
3	玉箱	落とし口で詰まっている	落とし口で詰まっている場合は、細い棒で突つつく	—
		箱の中で詰まっている	箱の内部で詰まった場合は、詰まっている部分の玉を取り除く	
4	玉戻し流路	流路で詰まっている	流路を細い棒で突つつく	—
		落とし口で詰まっている	落とし口を細い棒で突つつく	
5	還元機	皿部の落とし口付近で詰まっている	詰まっている部分の玉を取り除く	—
		流路部で詰まっている	詰まっている部分を細い棒で突つつく	
		スプロケットに玉が噛み込んで止まっている	還元機の電源をON・OFFしてスプロケットを揺らす 回復しない場合は、スプロケットを手で逆転させる	

9. 故障診断

ダイチヨーホーⅡ &Ⅳをご使用中、故障が発生した場合は以下の項目を点検し、改善しない場合は代理店に修理を依頼してください。

9.1 電源

ダイチヨーホーⅡ &Ⅳに電源が入らない場合は、以下の点検を行って下さい。

No	点検場所	点 検 方 法	修 理 方 法	備 考
1	AC100V電源の供給	電源ケーブルがACコンセントに差し込まれていますか	差し込まれていない場合は電源ケーブルをAC100Vコンセントに差し込む	—
2	電源ケーブルの切断	電源ケーブルを目視或いは手で動かして切断箇所が無いか点検して下さい	切断している場合は、電源ケーブルを交換する	交換用の電源ケーブルは別途ご用意下さい

9.2 パチンコ玉の供給

パチンコ遊技機にパチンコ玉を供給出来ない場合は、以下の点検を行って下さい。

No	点検場所	点 検 方 法	修 理 方 法	備 考
1	玉補給用タンク	上皿が脱落して下皿の上に落ちていませんか	上皿を正規の位置に戻す	「1.2-5)玉補給用タンク」参照
		上皿と下皿(シュート部)に玉が有りますか	玉が無い場合は玉詰まりをしています、上皿の玉を手で攪拌して玉詰まりを取る	—
2	補給センサ	補給センサが動いてタンクの落とし口を塞いでいませんか	塞いでいる場合は正規の位置に戻す	—
		補給センサのケーブルコネクタが抜けていませんか	抜けている場合は接続する	

No	点検場所	点 検 方 法		修 理 方 法	備 考
2 続 き		補給センサの上に玉が無く、還元機内に玉が有る状態で、補給センサを手で押して還元機が動いたり止まったりしますか		還元機が動かない場合は補給センサが壊れている可能性が有ります、補給センサを交換して下さい	補給センサの交換は販売店にご依頼下さい
3	シュート	左右のシュートのストッパは抜けていますか		ストッパを下に引き抜く	—
		シュートは詰まっていますか		シュートの詰まりを取る	
		シュートを固定しているネジが緩んで位置がずれていませんか		シュートを再取り付けする	
4	還元機	上の玉補給タンクに玉が無く還元機内に玉が有る時、スプロケットが回転しますか	還元機のケーブルは接続されていますか	還元機へのケーブルの接続を一度引き抜いて再度差し直す	9.2 玉詰まりに対するメンテナンス、2)循環流路内の玉詰まり、5 還元機、参照 ※注意 スプロケットが止まったまま放置すると、モータ温度が上昇して温度ヒューズが切れ、モータが回転しなくなる場合があります、速やかに電源を切って玉詰まりを取ってください
			スプロケット部に玉が詰まっていますか	スプロケットに玉が詰まっている場合は詰まっている玉を取る	
			スプロケット部に玉が無い場合、皿の落とし口或いは流路内で玉が詰まっていますか	詰まっている場合は玉詰まりを取る。	

No	点検場所	点 検 方 法	修 理 方 法	備 考
5	リレーの動作表示灯	玉補給タンクの補給センサの上に玉が無くて還元機内に玉が有る状態で、動作表示灯が点灯するか点検する	動作表示灯が点灯しない 電源スイッチがONになっているか確認してください 電源ケーブルがAC100Vのコンセントに差し込まれているか確認して下さい 玉補給用タンク内の補給センサケーブルのコネクタが確実に接続されているか確認して下さい 還元機の信号ケーブル(黒)コネクタが確実に接続されているか確認して下さい 以上で回復しない場合は販売店にご連絡下さい 動作表示灯が点灯する モータ保護用スイッチがONになっていることを確認してください 還元機の電源ケーブル(白)コネクタが確実に接続されているか確認して下さい 以上で回復しない場合は販売店にご連絡下さい	—

9.3 パチンコ遊技機の固定

パチンコ遊技機を固定出来ない場合は、ロック機構を点検して下さい。

点検場所	点 検 方 法	修 理 方 法	備 考
ロック機構	パチンコ遊技機を取り付ける際ロックハンドルがロック位置になっていませんか	ロックハンドルを反時計方向に廻してロックプレートを上に向けて下さい	—
	ロックハンドルは90°回転しますか	ロックハンドルが回転しない或いはロックプレートが上下しない場合はロック機構が壊れています、メーカーに修理を依頼して下さい	
	ロックハンドルを90°回転させてロックプレートが上下しますか		

9.4 パチンコ遊技機の傾斜調整

パチンコ遊技機の傾斜調整が出来ない場合は、ロック機構部の傾斜調整機構を点検して下さい。

点検場所	点 検 方 法	修 理 方 法	備 考
ロック機構部、傾斜調整機構	ロック機構部が前側のストッパにぶつかっていませんか	傾斜調整ボルトを廻してロック機構部を中間位置に戻し、再度傾斜調整を行う	—
	ロック機構部が後ろ一杯になっていませんか		
	傾斜調整ネジを廻してロック機構部が前後しますか	ロック機構部が前後しない場合は傾斜調整機構が壊れています、メーカーに修理を依頼して下さい	

9.5 ダイチョーホー本体の移動

移動がスムーズに出来ない場合は、キャスターとアジャストボルトを点検して下さい。

No	点検場所	点 検 方 法	修 理 方 法	備 考
1	キャスター	ダイチョーホーⅡの脚を少し持ち上げ、キャスターを手で回して軽く回転することを確認する	車軸にゴミが巻き付いている場合はゴミを取る キャスターが壊れている場合はキャスターを交換する	— 交換用のキャスターは別売になります
2	アジャストボルト	アジャストボルトが下に降りていて床と接触していませんか	アジャストボルトを上を持ち上げる	—

9.6 ダイチョーホー本体の水準

水準調整が出来ない場合は、以下の場所を点検して下さい。

No	点検場所	点 検 方 法	修 理 方 法	備 考
	設置場所	設置場所の傾斜が3°を超えていませんか	設置場所を変えるか、アジャストボルトの下にスペーサを入れる	—
	アジャストボルト	アジャストボルトのロックナットは緩めましたか	ロックナットを緩める	
		アジャストボルトは軽く回って上下しますか	アジャストボルトのネジ部を清掃する。 ねじ山が破損している場合はアジャストボルトを交換する	交換用のアジャストボルトは別売になります
	水準器	水準器は付属の物を使用していますか	付属の水準器を使用する	精度が高すぎと水準が取り難い場合が有ります、付属の物をご使用下さい

その他の不具合が発生した場合は、販売店にご連絡下さい。

ダイチョーホーⅡ 保証書(ユーザー登録シート)

この度は、弊社製品ダイチョーホーⅡをご購入頂き、誠に、有り難う御座いました。

お客様が正常な状態で、ご利用し、万が一故障した場合、必要事項が記載された保証書を添付することにより、ご購入後6ヶ月間の保証期間中、一回に限り、無償にて、修理を致します。尚、ダイチョーホーⅣをご購入のお客様は、次ページのユーザー登録が必要となります。

お手数ですが、製品到着日より、1週間以内に必要事項を記入のうえ、supoort@3stone.jp、若しくは、FAX:048-920-3322 まで、送信をお願い申し上げます。送信が無い場合は、ユーザー登録が出来ませんので、一切のサポートを行えない場合があります、ご了承下さい。また、この保証書は、原則、再発行致しませんので、大切に保管して下さい。

尚、下記項目に該当する場合、保証期間の対象外となり、有償となります。

- ・ 各種接続線及びリード線等の破損
- ・ 指定電圧以外の電圧や極性を加えたことによる故障
- ・ お客様の運搬・移動・組立時の接触や落下/衝撃等不注意による故障
- ・ 改造等不適正使用による故障
- ・ 倉庫等粉塵等の飛散している、若しくは、高温多湿等々、劣悪環境での使用による故障
- ・ 地震や風水害・火災等天災等による故障
- ・ その他故意又は過失に基づく故障1回に限り
- ・ 転売品等中古品を購入した場合

[お客様記入欄]

お買い上げ日	年 月 日	
品名	ダイチョーホーⅡ 本体	還元機
型式番号	BF	BE
製造番号		
ご法人名(例:株式会社スリーストン)		
屋号(例:パールショップサンエス)		
店舗名(例:東上野駅前店)		
住所	〒	
ご担当者名		
所属部署(例:営業本部 第一営業部)		
電話番号		
FAX番号		
メールアドレス		
ご購入先企業名(例:株式会社サンエス販売)		
ご購入先事業所名(例:東上野営業所)		
ご購入先担当者名		

株式会社スリーストン

ダイチョーホーⅣ保証書(ユーザー登録シート)

この度は、弊社製品ダイチョーホーⅣをご購入頂き、誠に、有り難う御座いました。

お客様が正常な状態で、ご利用し、万が一故障した場合、必要事項が記載された保証書を添付することにより、ご購入後6ヶ月間の保証期間中、一回に限り、無償にて、修理を致します。尚、G-TUNEは、1年間の保証期間となります。

お手数ですが、製品到着日より、1週間以内に必要事項を記入のうえ、support@3stone.jp、若しくは、FAX:048-920-3322 まで、送信をお願い申し上げます。送信が無い場合は、ユーザー登録が出来ませんので、一切のサポートを行えない場合があります、ご了承ください。また、この保証書は、原則、再発行致しませんので、大切に保管して下さい。

G-TUNEは、精密機器の為、ノイズによる誤作動を起こすことが想定されます、以下の点にご注意下さい。

- ・配電盤/分電盤等の近傍でのご利用は、お避け下さい。
- ・ダイチョーホー本体のアース以外、遊技台のアースを取るようお願い致します。
- ・市販のノイズフィルタータップをご利用下さい。

尚、下記項目に該当する場合、保証期間の対象外となり、有償となります。

- ・ 各種接続線及びリード線等の破損
- ・ 指定電圧以外の電圧や極性を加えたことによる故障
- ・ お客様の運搬・移動・組立時の接触や落下/衝撃等不注意による故障
- ・ 改造等不適正使用による故障
- ・ 倉庫等粉塵等の飛散している、若しくは、高温多湿等々、劣悪環境での使用による故障
- ・ 地震や風水害・火災等天災等による故障
- ・ その他故意又は過失に基づく故障1回に限り
- ・ 転売品等中古品を購入した場合

[お客様記入欄]

お買い上げ日	年 月 日	
品名	ダイチョーホーⅡ 本体	還元機
型式番号	BF	BE
製造番号		
ご法人名(例:株式会社スリーストーン)		
屋号(例:パールショップサンエス)		
店舗名(例:東上野駅前店)		
住所	〒	
ご担当者名		
所属部署(例:営業本部 第一営業部)		
電話番号		
FAX番号		
メールアドレス		
ご購入先企業名(例:株式会社サンエス販売)		
ご購入先事業所名(例:東上野営業所)		
ご購入先担当者名		

株式会社スリーストーン

取扱説明書 ダイヨーホーⅡ &Ⅳ 初版 : 2006年01月10日 第2版 : 2006年02月01日 第3版 : 2008年05月02日 第4版 : 2011年06月23日 製造元: セル盤(盤面傾斜)と”どんぴしゃ®パーフェクト”の 株式会社スリーストン 埼玉県草加市瀬崎町3-16-8 support@3stone.jp http://www.3stone.co.jp	販売協力店名
--	---------------